



心歌（しんか） ～ 心で歌い上げた開校記念校内音楽祭 ～

10月19日（水）に開催した「開校記念校内音楽祭」学年公開におきましては、ご多用の中、予想を上回るたくさんの保護者の方々にご観覧をいただきました。本当にありがとうございました。

今回の校内音楽祭のテーマは「心歌（しんか）」。まさに心を込めて歌い、クラスが一体となって練習する姿が見られました。その過程では、うまくいかなかったり、意見が食い違ったりしてあつれきが生じる場面もありました。しかし、改善策を話し合い、目標を具体的に立て直しながら一つの目標に向かっていくという成長の軌跡がどの学級からも感じられました。特に、本番直前の2日間の練習の追い込み方、雰囲気の盛り上がり方、そして一体感の感じられる取組は圧巻で、子どもたちの底力には驚かされました。各学級の絆が「深化（しんか）」し、綾川中学校の新たな取組が着々と「進化（しんか）」していると実感しました。



10月21日（金）の「開校記念校内音楽祭」。綾川中生の「真価（しんか）」を発揮するとともに、これまでの取組の集大成ともいえる「心で歌い上げる」素晴らしい演奏ばかりでした。特に3年生のハイレベルな演奏は、審査員泣かせとなり、甲乙付けがたいものでした。



本来であれば、保護者の方にもアイレックス大ホールという素晴らしい場所でお聴きいただきたかったところですが、感染症対策を講じながら異学年交流を深めるというねらいを実現するため叶いませんでした。しかし、全学年が揃って開催ができたおかげで、3年生の姿を1・2年生は脳裏に焼き付け、3年生は1・2年生にあるべき姿を披露することができました。

他校では、合唱コンクールの開催を回避したり、学年別を実施したりする中、全校生で実施できたことにより、その教育的な効果は一層高まり、「人は人に憧れ、人は人に憧れられながら成長する」という当初の目的に近付いたと考えているところです。

深まった級友との絆や、苦勞して取り組んだこの3か月に渡る練習の日々は、子どもたちにとって一生の財産になるものです。本校出身の保護者の方のアンケートのコメントにも「子どもたちの姿を見て、中学時代の合唱コンクールが懐かしく鮮明に思い出されます」とありました。

今後、1年生は屋島集団宿泊学習、2年生は職場体験学習、3年生は進路決定とそれぞれの新たな目標に向かって突き進んでいきます。しかし、それぞれに一人で乗り越えるのではなく、常に仲間とともに苦樂を乗り越えていくものと期待しています。校内音楽祭を通して、仲間の大切さやありがたさを肌で感じた子どもたち。更なる成長を遂げるべく、「ともにチャレンジ！」してほしいと願っています。

